

## 社会科学習指導案

三原市立幸崎小学校 教諭 村田 耕一

- 1 学 年 第4学年 20名
- 2 単元名 安全な生活を守る「なくそう、こわい火事」
- 3 単元設定の理由

### ○単元観

本単元は、小学校学習指導要領の社会第3学年及び第4学年の内容(4)「地域社会における災害及び事故の防止について、次のことを見学、調査したり資料を活用したりして調べ、人々の安全を守るための関係機関の働きとそこに従事している人々や地域の人々の工夫や努力を考えるようにする。」を受けて設定している。

ここでは、災害から人々の安全を守るための関係機関として、地域の消防署や消防団の働きを取り上げる。地域の消防署や消防団を取り上げることは、消防署員や消防団員へ聞き取り調査や施設の見学が可能となるため、児童の体験的・作業的な学習を展開する上で有効である。また、見学だけでは読み取ることのできない情報も、教師が資料を作成して児童に提供することができる。これらのことから、地域の消防署や消防団の働きや工夫・努力について、調査・見学及び資料を活用して考える学習は、社会的事象の特色や相互の関連について考える力を養うことに適した単元だと言える。

また、これまでの知識や資料から読み取ったことを基に学習課題を設定し、体験活動や聞き取り調査、資料等を活用して、消防署の働きやそこに従事している人々や地域の人々の工夫や努力について考えるという問題解決的な学習の過程に沿って授業を展開できる単元である。

### ○児童観

本学級の児童は、社会的事象を観察、調査したり、地図や各種の具体的資料を効果的に活用したりして、社会的事象について考える学習に継続して取り組んでいる。前単元「健康なくらしをささえる」の学習における単元末テスト(選択式)の結果では、90%以上の児童がおおむね理解できている状況であったことから、本学級の児童は、社会科の学習に意欲的に取り組み、社会的事象に対する知識も定着してきていると言える。

一方で、本単元に入る前に実施した「社会的な思考力・判断力に関するテスト(記述式)」での結果は、A評価の児童は1名、B評価の児童は16名、C評価の児童は3名であった。児童の記述内容を分析すると、社会的事象の特色や相互の関連について考える力は、おおむね育ってきていると判断できるが、社会的事象を比較したり関連付けたり総合したりして客観的に把握し、それに基づいて自分なりの意見をもつ力は十分に育っているとはいえない状況である。

### ○指導観

指導にあたっては、問題の発見から追究、解決に至る問題解決的な学習を取り入れ、主体的に学習に取り組ませ、社会的事象の特色や相互の関連について考える力を高めていきたい。そのため、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるように、学習内容を構造化して獲得させたい知識を明確にし、それらを学習過程に位置付けた問題解決的な学習を展開していく。

具体的には、地域の消防署を取り上げ、火事について知っていることを発表したり、写真やグラフを読み取ったりすることを手掛かりとして、追究していく学習問題を設定する。そして、消防署で働く人や地域の消防団員への聞き取り調査や資料等を活用した調べ学習を通して、考える際に基盤となる知識を習得させる。それから、設定した学習問題を解決するために、習得した知識を活用した話し合い活動を行い、その中で社会的な思考力・判断力を身に付けさせる。

なお、児童に社会的な思考力・判断力を身に付けさせるために、授業を進める上で、以下の3点に取り組んでいく。

1つ目は、個の考えを明確にさせるために、フォーマットを活用し自分の考えを書かせていく。自分の考えを書かせることで、児童は自分の考えを明確にすることができ、話し合い活動の中で、根拠を明確にした意見を発表できるようにしたい。

2つ目は、思考を深めるための発問の工夫を行う。児童の発言を取り上げ、事象と事象との関係をより深く考えさせる発問を行うことで、話し合い活動を活性化させていく。

3つ目は、根拠や解釈を示して説明させるために、グラフや写真を活用させていく。グラフや写真を活用させることで、児童は自分の考えについて、根拠を基に論理的に説明することができ、話し合いにおいて考えを深めることができると考える。

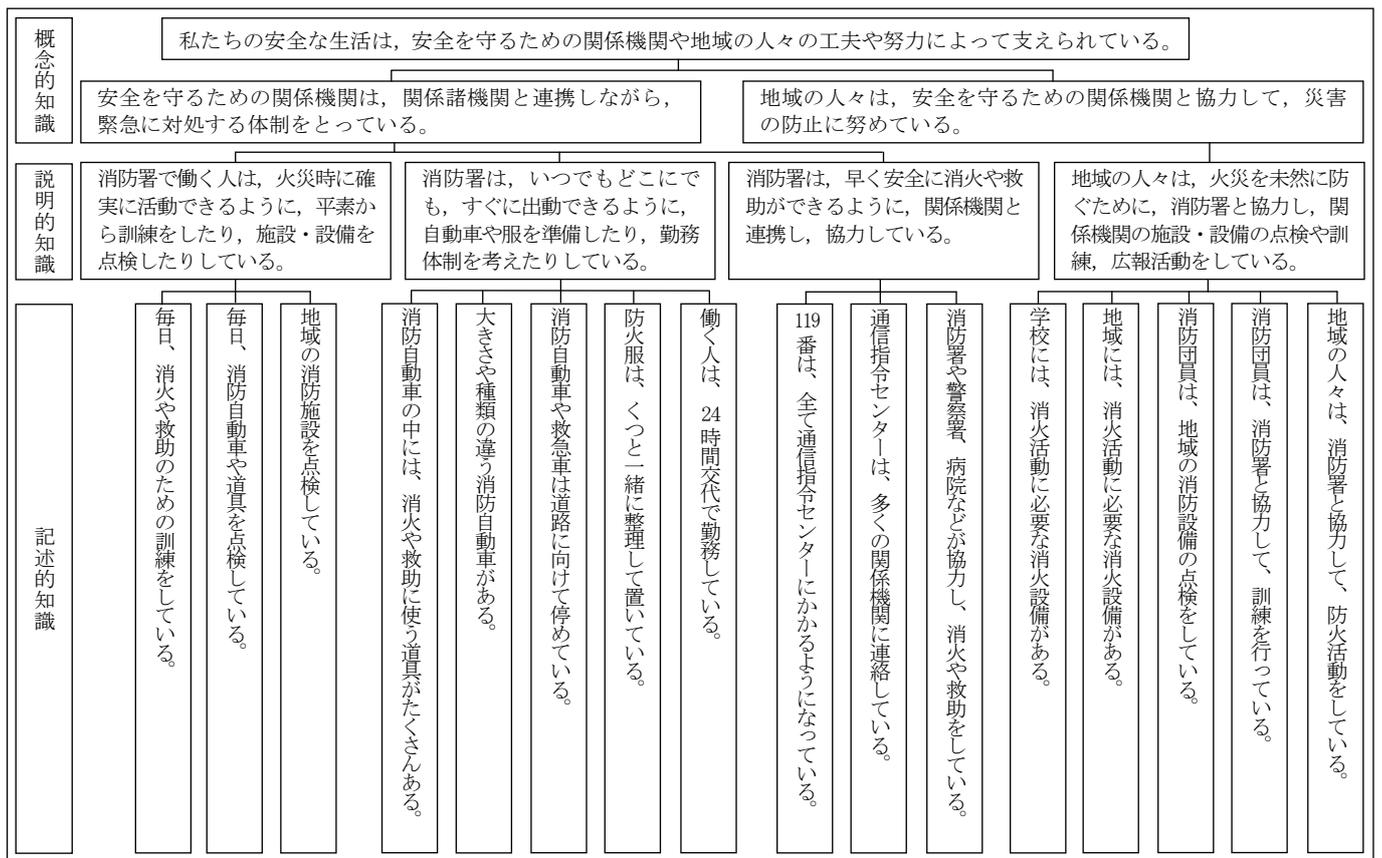
#### 4 単元の目標

- 地域の人々の安全を守るために、関係の諸機関が相互に連携して緊急に対処する体制をとっていることや、そこに従事している人々が様々な工夫や努力をしていることを理解できるようにする。
- 地域の人々の安全を守るための諸活動に関心をもち、それを意欲的に調べることを通して、自分も地域社会の一員としての自覚をもてるようにする。
- 地域の人々の安全を守るための諸活動の様子を、具体的資料を効果的に活用して調べ、人々の安全を守るための関係機関の働きとそこに従事している人々や地域の人々の工夫や努力について考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。

#### 5 単元の評価規準

| 社会的事象への<br>関心・意欲・態度   | 社会的な<br>思考・判断・表現  | 観察・資料活用の<br>技能  | 社会的事象に<br>ついての知識・理解                                |
|---|---|---|--|
| 地域社会における災害の防止のための諸活動に関心をもち、それを意欲的に調べ、地域社会の一員として地域の人々の安全な生活の維持について考えようとしている。 | 地域社会における災害の防止のための諸活動の様子から学習課題を見いだして追究し、人々の安全を守るための関係機関の働きとそこに従事している人々や地域の人々の工夫や努力について思考・判断したことを適切に表現している。 | 地域社会における災害の防止のための諸活動の様子を的確に見学、調査したり、具体的資料を活用したりして、必要な情報を集めて読み取ったりまとめたりしている。 | 人々の安全を守るための関係機関の働きとそこに従事している人々や地域の人々の工夫や努力を理解している。 |

6 本単元の知識の構造図



7 指導と評価の計画 (全9時間)

| 次 | 学習内容 (時数)                        | 関 | 思 | 技 | 知 | 評価規準   | 評価方法          |
|---|----------------------------------|---|---|---|---|--|---------------|
| 1 | ○消防の仕事に興味をもち、学習課題をつくる。(2)        | ◎ |   |   |   | 消防署の仕事に興味をもち、進んで調べようとしている。   | カード<br>態 度    |
| 2 | ○消防署の仕事や工夫について調べる。(2)            |   |   | ◎ | ◎ | 消防署の人の話を聞いたり、質問したりして、必要な情報を集めている。<br>消防署で働く人の仕事や消防署の工夫、関係機関との協力について理解している。 | ノート<br>ワークシート |
| 3 | ○消防署で働く人の仕事について考える。(1) <b>本時</b> | ◎ | ○ |   |   | 消防署で働く人が平素から長時間訓練をしている理由を考え、適切に表現している。                                     | ノート           |
|   | ○消防署の工夫について考える。(1)               | ◎ | ○ |   |   | 消防署が、消防自動車や防火服をすぐ使えるように準備したり、施設・設備の点検をしたりしている理由を考え、適切に表現している。              | ノート           |
|   | ○関係機関の協力について考える。(1)              | ◎ | ○ |   |   | 消防署が他の関係機関と協力している理由を考え、適切に表現している。  | ノート           |
|   | ○火災を防ぐ取組について考える。(1)              | ◎ | ○ |   |   | 地域の人々が、消防署と協力して、地域の消防設備の点検や訓練、防火活動をしている理由を考え、適切に表現している。                    | ノート           |
| 4 | ○学習したことをまとめ、消防署の方に手紙を書く。(1)      | ○ | ◎ |   |   | 私たちの生活が安全を守る関係機関や地域の人々の工夫や努力によって支えられていることをとらえ、自分ができることを考え適切に表現している。        | 手紙            |

8 学習展開

- (1) 本時の目標 「消防署の訓練の様子」の資料を基に話し合うことを通して、消防署で働く人が人々の安全を守るために、平素から長時間訓練をしていることを考えることができる。
- (2) 観点別評価規準 消防署で働く人が平素から長時間訓練をしている理由を考え、適切に表現している。  
【思考・判断・表現】

| 学習活動   | 指導上の留意事項   | 評価規準<br>(評価方法)  |
|--|--|---|
| 1. 消防署で働く人の仕事について確認する。   | <p>○児童が作った学習課題を取り上げ、消防署で働く人が、どんな訓練をしているのかを確認する。</p> <p>○教科書 p.67「消ぼうしよで働く人の1日」から、消防署で働く人が長時間の訓練を行っていることを確認する。</p>  |   |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <b>学習課題</b><br/>                     なぜ、消防署で働く人は、長時間訓練をしているのだろうか。                 </div> |  |   |
| <p>2. 学習課題に対する自分の考えをノートに書かせる。</p> <p>3. 資料（自作）を活用しながら、消防署で働く人が長時間訓練をしている理由について話し合う。</p>  | <p>○フォーマットを活用して、自分の考えをノートに書かせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <b>【フォーマット】</b><br/>                     消防署で働く人が、長時間訓練しているのは、<br/> <input style="width: 100px; height: 15px;" type="text"/>からである。                 </div> <p>○児童の考えを発表させた後、資料（自作）を配布する。</p> <p>○火災に備えて、長時間訓練をしていることをつかませる。</p> <p>○訓練のVTRを見せてイメージさせた後、長時間訓練を行う理由を深く考えさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     なぜ、消防署で働く人は、このような訓練を長時間行わなければならないのだろうか。                 </div> <p>○資料（自作）から、早く現場にかけつけ、確実に救助や消火をするために必要であることをつかませる。</p> |   |
| <p>4. 課題に対する自分の考えをノートにまとめる。</p> <p>5. 次時の学習内容について知る。</p>   | <p>○フォーマットを活用して、自分の考えをノートに書かせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <b>【ノート例】</b><br/>                     消防署で働く人が、長時間消火や救助の訓練をしています。それは、早く現場にかけつけ、確実に人を助けたり消火活動をしたりするために必要だからです。<br/>                     私は、今日の勉強を通して、消防署で働くは火事に備えて、しっかり訓練をし、私たちの安全な生活を守っていることが分かりました。                 </div> <p>○次時では、消防署の工夫について考えていくことを伝える。</p>   | <p>消防署で働く人が平素から長時間訓練をしている理由を考え、適切に表現している。<br/>(ノート)</p> |